

南海放送株式会社
株式会社愛媛朝日テレビ
株式会社あいテレビ
株式会社テレビ愛媛

愛媛県内民放テレビ 4 局が局の垣根を越えて連携

「Four for えひめ Project ～テレビだからできること～」始動

～第一弾は「人口減少問題」をテーマに、各局ニュース枠で特集放送を実施～

～愛媛県官民共創拠点「E:N BASE」で開催される記者発表会には中村時広愛媛県知事も登壇～

南海放送株式会社、株式会社愛媛朝日テレビ、株式会社あいテレビ、株式会社テレビ愛媛の 4 局は、愛媛県および愛媛県民が抱える課題解決を目的とした合同プロジェクト「Four for えひめ Project ～テレビだからできること～」を始動いたします。

地上波テレビ 4 局は、これまで各社が個別に地域密着型の報道・情報発信を行ってまいりました。しかし、人口減少や地域経済の縮小など、愛媛県が抱える課題の解決にはより大きなスケールでの発信力・実行力が求められています。このような状況を踏まえ、4 局は系列の垣根を越えて手を結び、「愛媛のために」を合言葉として地域課題の解決や地域の活性化を目指します。4 局が 1 つになることで、個社では実施できない規模のキャンペーンや、特別番組の放送、番組と連動した地域活性化イベント等の企画を計画しており、各局の電波を活用して協働で PR を行ってまいります。第一弾の取り組みとして、2026 年 10 月より各局の夕方ニュース枠にて「人口減少問題」に関する特集放送を実施いたします。

本プロジェクトのスタートにあたり、2026 年 9 月 30 日に愛媛県官民共創拠点「E:N BASE」（愛媛県庁 第二別館）にて記者発表会を執り行います。つきましては、本プロジェクトにつきましてご周知賜りますようお願い申し上げます。



私たちは、愛媛主義
南海放送

地元を愛す。
eat 愛媛朝日テレビ

せいの!
itv6

つながるっ!
テレビ愛媛

記

プロジェクト概要

プロジェクト名：Four for えひめ Project～テレビだからできること～

実施主体：南海放送株式会社、株式会社愛媛朝日テレビ、

株式会社あいテレビ、株式会社テレビ愛媛（4局共同）

目的：愛媛県および県民が抱える地域課題の解決 および 地域活性化への寄与

特徴：個社の事業領域の枠を越えた4局合同の大型キャンペーン。

今後、共通テーマでの特集企画の放送や、地域活性化イベント、番組連動企画なども展開予定

第一弾の取り組み内容

愛媛県が抱える喫緊の課題である「人口減少問題」をテーマに、各局の夕方ニュース枠にて特集を放送いたします。

放送期間：2026年10月～2027年3月

放送内容：各局5回、4局合計20回、各局の夕方ニュース内で特集放送

テーマ：人口減少に起因する愛媛県の地域課題

各局それぞれの視点・取材力を生かしながら、同一テーマを継続的に取り上げることで、視聴者の関心喚起と課題解決に向けた機運の醸成を目指します。

記者発表会について

本プロジェクトの発表会は、2部構成にて実施いたします。

日時：2026年9月30日（水）13時～14時

（受付開始 12時30分）

会場：愛媛県官民共創拠点 E:N BASE（愛媛県松山市一番町 愛媛県庁第二別館）

出席者：南海放送株式会社 代表取締役社長 山内 孝雄

株式会社愛媛朝日テレビ 代表取締役社長 小林 正太郎

株式会社あいテレビ 代表取締役社長 左納 和宜

株式会社テレビ愛媛 代表取締役社長 西岡 征治

各局のニュースキャスター・アナウンサー

愛媛県知事 中村 時広様

【第1部】プロジェクト説明 （13時—13時30分）

4局代表者（座長 あいテレビ社長 左納和宜）より、プロジェクトの概要および各局からの抱負を発表いたします。

【第2部】中村時広 愛媛県知事登壇 （13時30分—14時）

中村時広愛媛県知事にご登壇いただき、プロジェクト第一弾となる「人口減少対策」への想いや、県の取り組みについてコメントを頂戴する予定です。県・行政と地元メディア4局が連携し、地域課題解決に向けた機運を共に高めてまいります。

今後の展開

第一弾の特集放送に続き、4局合同によるイベントの実施や、番組と連動したグルメ企画など、地域の活性化に寄与する取り組みを段階的に展開してまいります。また、愛媛県との連携も強化し、行政と地元メディアが一体となって人口減少問題をはじめとする地域課題の解決に取り組んでまいります。
本リリースにつきましては各局のホームページにも掲載いたします。

問い合わせ先

南海放送株式会社 取締役執行役員 営業編成本部事業長 門田伸治

メール s-kadota@rnb.co.jp 電話 080-2854-1676

以上